

2019年度12月10日実施 大学連携ワークショップ レポート 第5回

今回は、大学連携ワークショップの最終レポートとして、12月10日に実施した最終発表会の模様をレポートいたします。発表会には、中野区長を始め、学生のプロモーションプランに期待を寄せるJR中野駅や、中野区の観光に関わる事業者など、多くの団体がオブザーバーとして参加しました。

本プロジェクトでは、学生が4つのチームに分かれて、「中野区らしさ」を研究し、その魅力により多くの人に実感してもらうためのアイデアを提案することを目的とし、半年間のワークに取り組んできました。

前回のレポートでは、学生が発見した「中野区らしさ」を発表した中間発表会の模様をお伝えしました。その後、学生たちは、既存の観光施策事例や"インバウンドの求める旅行体験"の分析、"自分が記憶に残る旅行体験"の要素の洗い出しと共有、既存の観光施策事例の分析などを通して、旅行・観光体験の発想のヒントを蓄積しました。

各チームは、これらの体験創りのヒントと「中野区らしさ」をかけ合わせて、2つのアイデアの発想に取り組みました。1つ目は、中野区民だけでなく、外国人観光客にも中野区の魅力を伝えるために、今後取り組むべき"観光施策"のアイデアです。2つ目は、中野区民の方にも「中野区らしさ」を改めて体感してもらうために、明日からでも試せる"新しいナカノ歩き"のアイデアです。最終発表会では、2つのアイデアについて、その元となった「中野区らしさ」とともに発表します。

ワークショップ全体の流れ

中野区らしさの分析ワーク①

中野のスナップショット/日々の経験から“中野区らしさ”を議論

中野区らしさの分析ワーク②

実際に中野のまちを歩いて、“中野区らしさ”を体感・言語化

外国人観光客の実態調査ワーク

区内の外国人観光客向けゲストハウスでインタビュー&観光施策の事例分析

【中間発表】

チームごとに調査から得た発見を中心に中野区役所職員に発表
分析・発見に対して客観的にフィードバック

アイディエーション

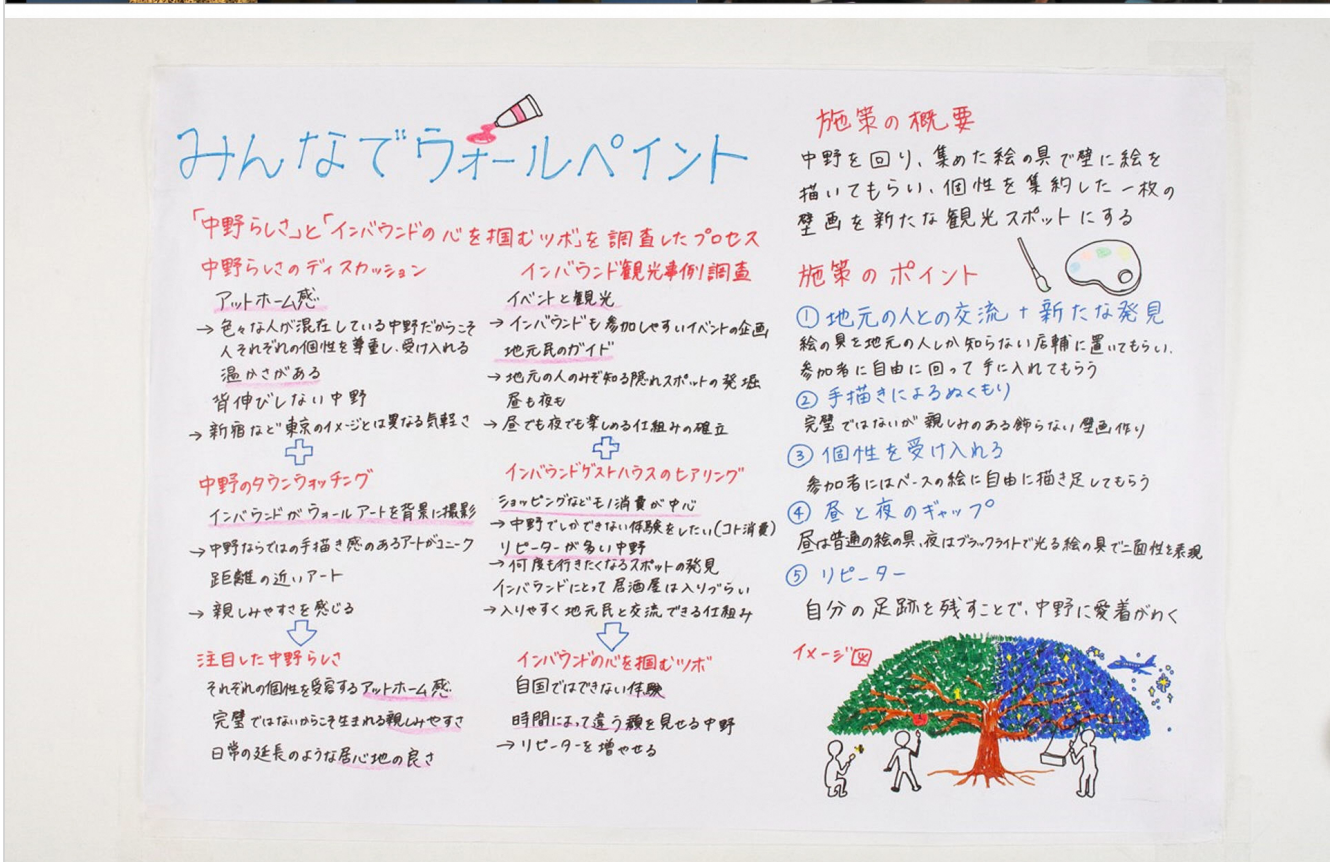
「中野区らしさ」と「外国人観光客を動かすツボ」から観光施策を発想

【最終発表会】

中野区民や地域企業・各種団体の方々・観光サービス事業者
の方々を招待して、ワークから得た発見と観光施策アイデアを発表

多くのステークホルダーを前に発表した、学生たちが3か月にわたって取り組んだ中野区のシティプロモーションプランをご覧ください。

最終発表:TEAM「カフェイン」



まず最初に発表したのは、チーム「カフェイン」です。このチームが提案した「外国人観光客向け施策」は、「みんなでウォールペイント」です。これは、中野駅近くの壁に描かれた「親近感がわく手書きアート」から発見した「アマチュアな個性も尊重する文化」という「中野区らしさ」を外国人観光客の方にも体感してもらうためのアイデアです。

自由にペイントできる壁を設置して、観光客などに、自分が訪れた足跡を中野区に残してもらうことで、中野のまちに世界中の「個性」が蓄積されていき、壁自体が新しい観光スポットになっていきます。また観光客が、「自分が過去に描いたウォールペイントがどうなっているんだろう？」と気になって、もう一度、中野のまちを訪れることも期待できます。中野を訪れた観光客にとって、いつまでも中野が、自分にとって特別なまちであり続けるような施策です。

「Discover Your Nakano～隠れた魅力を探せ!～」

小さな発見をFour square*でシェアして、皆で「中野宝探しマップ」を作り上げよう

「注目した中野らしさ」

狭い路地に立ち並ぶお店、居酒屋街、閑静な釣り堀やステッカーが貼り尽くされた電柱など中野を歩くと宝探しのように毎日新たな発見がある点その中でも、距離感を近く感じられる手書きアートは、中野らしさを強く表している。

中野らしさを感じられるスポット①

スポットは基本的に参加者が新たな発見だと思ったところならどこでもOK!
例えば、つい人に教えたくなくなってしまうような一面ウォールペイントで覆われたビル

中野らしさを感じられるスポット②

散歩をしていて偶然見つけた
地元の人しか知らない釣り堀なども◎

*ユーザーがお店などにGPS上でピンを立て、今まで知られていなかった、隠れていたお店を共有できる既存のアプリ。宝を見つけることができる他、宝の地図を作ることもできる。

「スポットの写真」



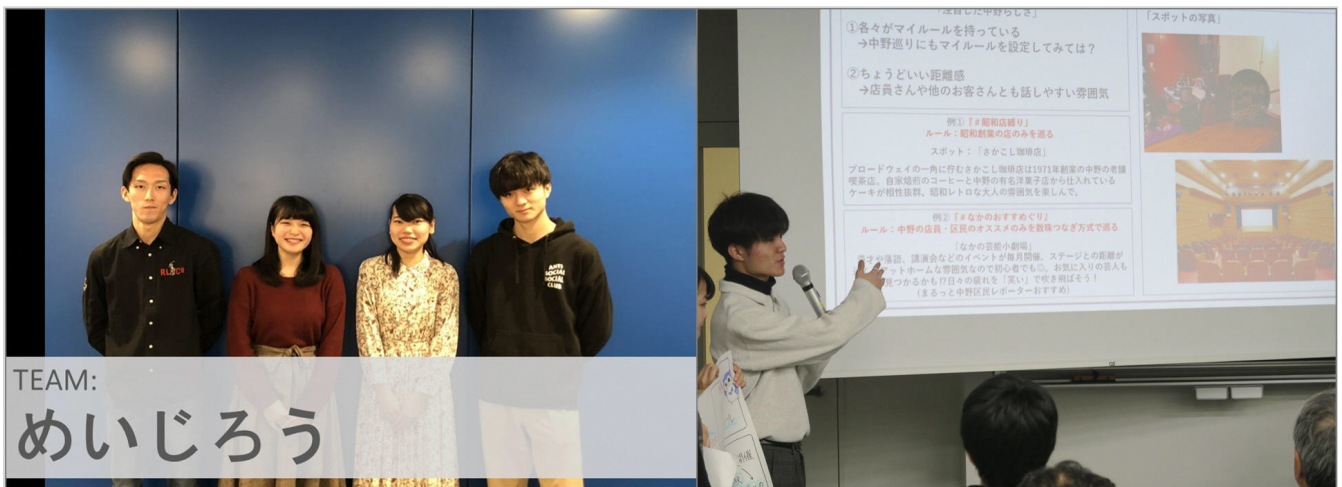
このチームの提案する"新しいナカノ歩き"は、「Discover Your Nakano～隠れた魅力を探せ!～」というもので、中野の入り組んだ路地から発見した「宝探しするように迷い込みたくなる」という「中野区らしさ」に着想を得たアイデアです。このアイデアは、中野のまちを歩きながら発見した「自分が思う」魅力的な中野のスポットを地図アプリ(例:GoogleMap)などで共有するというもので、中野を愛する皆さんで、中野の隠れた魅力を発掘して、「中野の宝地図」を創るという施策です。



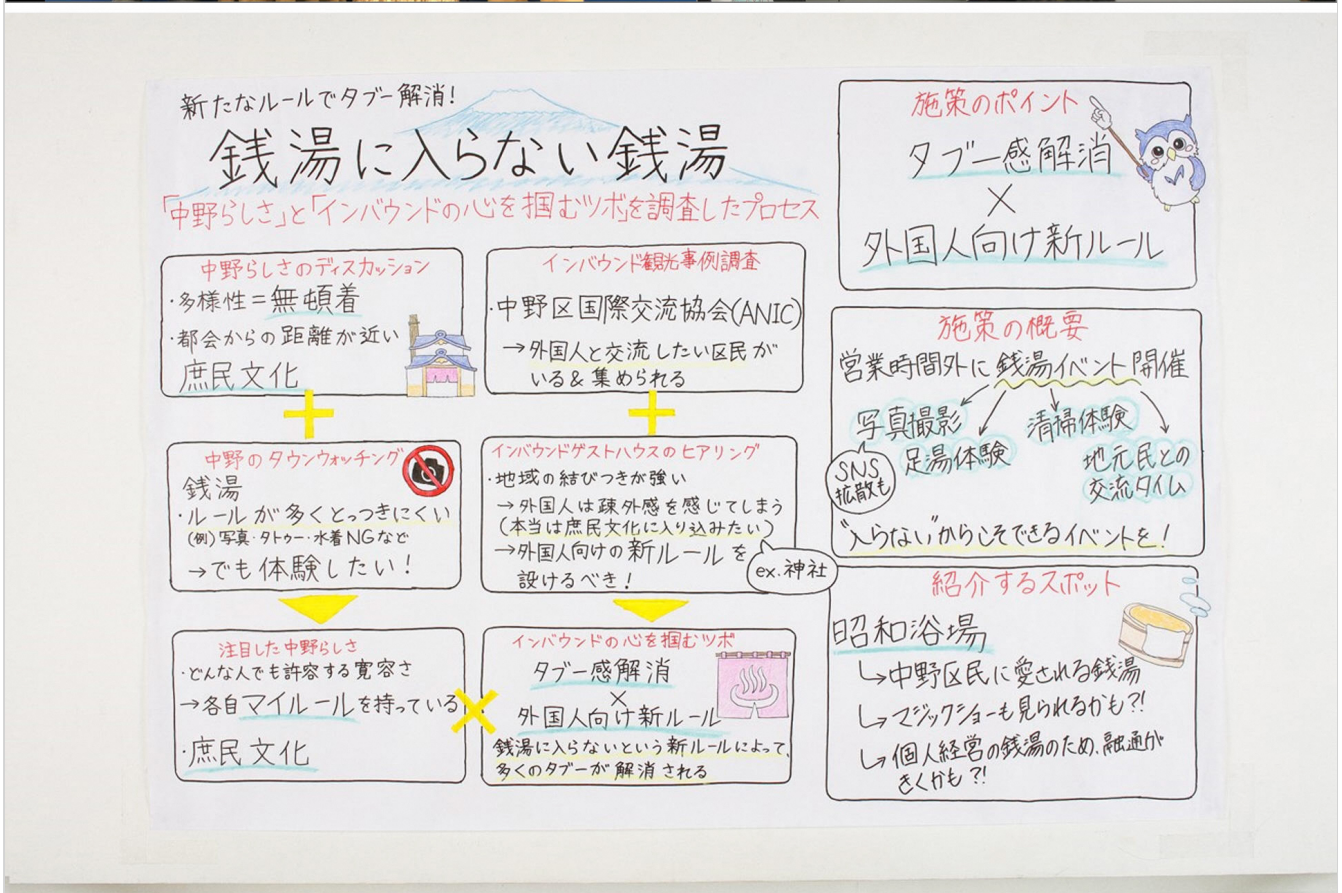
質疑応答では、「ウォールペイント」のアイデアについて、「世間では、「壁に絵を描く」という行為がNGとされがちだが、それをあえて行うことで「なんでもできる中野」をうまくアピールできている」という感想がでて、中野区らしい挑戦的で、新しい取り組みになりそうだと議論されました。

また、「Discover Your Nakano」については、「ネットとも親和性が高く、いつでも更新できるコンテンツとして発信性もある!」という意見がでて、施策の拡散力が期待されました。一方で、「参加するメリットがより明確になるといい」という「施策が実際に広がる」ために何が必要かを精緻化する必要性などが議論されました。

最終発表:TEAM「めいじろう」



TEAM:
めいじろう



2番目に発表したのは、チーム「めいじろう」です。このチームが提案した「外国人観光客向け施策」は、「銭湯に入らない銭湯」です。これは、区民が「各々がマイルールを持って自由に暮らしている」という「中野区らしさ」に着想を得て、外国人観光客の「日本には暗黙のルールやマナーがある」という悩みを解決できないか?というチャレンジです。そこで注目したのがまちの銭湯です。

銭湯は、「写真禁止」や「水着禁止」など、日本の中でも特にルールが多い施設の1つです。そこで、「自由なルールがある」中野では、銭湯であえて「写真撮影OK」や「水着OK」などの新しいルールをつくって、通常営業の時間外に外国人観光客の方にも自由に銭湯を楽しんでもらうというアイデアです。外国人観光客の悩みの種である「日本独自のルール」を解消するという、多様性あふれる中野区らしいアプローチが光る斬新な提案です。

「マイルール・マイルート」

マイルールを設定し、中野巡りを楽しむ。最終的にどんなお店・場所に行きつくのか想像しながら中野を散策！
「#中野マイルール」or「#中野マイルート」でTwitterやInstagramに投稿してもらおう。
中野のマイルールを強調していき、可視化できるようにする。

「注目した中野らしさ」

- ①各々がマイルールを持っている
→中野巡りにもマイルールを設定してみては？
- ②ちょうどいい距離感
→店員さんや他のお客さんとも話しやすい雰囲気

例①『#昭和店縛り』

ルール：昭和創業の店のみを巡る

スポット：「さかこし珈琲店」

ブロードウェイの一角に佇むさかこし珈琲店は1971年創業の中野の老舗喫茶店。自家焙煎のコーヒーと中野の有名洋菓子店から仕入れているケーキが相性抜群。昭和レトロな大人の雰囲気を楽しんで。

例②『#なかのおすすめぐり』

ルール：中野の店員・区民のオススメのみを数珠つなぎ方式で巡る

「なかの芸能小劇場」

漫才や落語、講演会などのイベントが毎月開催。ステージとの距離が近く、アットホームな雰囲気なので初心者でも◎。お気に入りの芸人も見つかるかも!?日々の疲れを「笑い」で吹き飛ばそう!
(まるっと中野区民レポーターおすすめ)

「スポットの写真」



このチームの"新しいナカノあるき"のアイデアは、「マイルール・マイルート」というもので、「中野区の方々が自分なりのまちの楽しみ方を持っているのではないか?」という仮説から生まれました。「昭和創業の店のみをめぐる」「店員さんのおすすめの店を数珠つなぎに巡る」など、自分なりのルールやルートを設定して、まちを歩き、その歩き方をSNS上で共有するという施策です。中野の新しい楽しみ方がSNS上に蓄積されて、中野の魅力がどんどん倍加されていくことが期待されます。



質疑応答では、「銭湯」のアイデアについて、「写真を撮るなど今まで想像もしていなかった、独自性が光るアイデアだと思う」という声があがり、学生ならではの斬新な発想に会場も盛り上がりました。一方で、「銭湯に入らない理由は本当にルールがむずかしいからなのか？」という疑問も投げかけられ、外国人観光客にとっての本質的な課題は何か？が深く議論されました。また、「マイルール」のアイデアについては、「SNSへの投稿はすぐにでも取り組めるから実現性が高い」「自分もやってみたいし、誰かがやってるのも見てみたい」というコメントが続き、明日にでも中野区民を巻き込むような取組みの拡がり期待されました。

最終発表:TEAM「ティラミス」



TEAM:
ティラミス

おいしい日本をつまみぐい
～自分で作るおもしろいパスポート～

＜「中野らしさ」と「インバウンドの心を掴むツボ」を両立したプロセス＞

<p>中野らしさを引き出すヒント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 三軒茶屋: 建物や密集、小規模な飲食店 ② タタライス: 多国籍な人々、多様な料理、多様な文化 ③ 気遣い: 人々の心が通い、かこま、やさしい 	<p>インバウンド観光客の傾向</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多岐にわたる: 若い世代、外国人観光客、多様なニーズ ② 多岐にわたる: 多岐にわたるニーズ、多岐にわたるニーズ
<p>タウクワッチングから得たヒント</p> <p>「洗練されたカオス」</p> <p>「洗練されたカオス」</p> <p>「洗練されたカオス」</p>	<p>インバウンド観光客の傾向</p> <p>「洗練されたカオス」</p> <p>「洗練されたカオス」</p> <p>「洗練されたカオス」</p>

注目した中野らしさ

- ① **三軒茶屋**: 歩くのが楽しい街
- ② **タタライス**: 選択が豊富で楽しい
- ③ **気遣い**: 気負わずに楽しめる

インバウンド観光客の傾向

- ① 良質なサービスを提供できる
- ② 自分だけの日本らしい思い出づくり
- ③ 外国人でも入りやすい空間づくり
- ④ 1人でも楽しめるようなサービス

「施策のポイント」
パスポート1冊で日本の美味いと楽しさが凝縮された中野を「発見」し、各店舗の「オリジナル料理」を「つまみぐい」して、はしご酒文化を堪能!

「施策の概要」
馬尺やゲストハウスでパスポートを購入

Step 1: 計20店の中から12店の中からサイコロの出た目の2店舗に行く

Step 2: 日本のおいしいを少しづつつまみぐいして

Step 3: ヒントを出された8店の中から謎解きで自分の行きたい2店舗を選ぶ

Step 4: 各店舗でオリジナルスタンプを押してもらう

Step 5: SNS等でお店や料理、自分のルートを共有し発信

「持続性」
・NEWに特化
・SNS活用
・独自性

3番目に発表したのは、チーム「ティラミス」です。このチームが提案した「外国人観光客向け施策」は、「おいしい日本をつまみぐい～自分で作るおもしろいパスポート～」です。これは、中野のまちには、小さくて個性的なお店が密集していて、はしご酒文化が根付いているという「中野区らしさ」にヒントを得たアイデアです。これは、パスポートを定額で購入して、パスポートに記載されたクイズなどを頼りに、中野のまちをゲーム感覚で巡るというものです。中野の入り組んだ路地を「ロールプレイングゲームのダンジョン*」に見立てて、まちを「ゲーム盤」のように楽しめる遊び心にあふれるアイデアです。

*ダンジョン ...英語で「地下牢」等を意味する言葉。ロールプレイングゲームにおいては、ゲーム中の探索や攻略の対象となる場所を示す言葉として使われる。

「中野で世界旅行体験」

多様性が凝縮され、なんでも受け入れてくれる中野では、世界各国の文化を楽しめるスポットが多い。そんな中野を探検することで、世界旅行をした気分になることができる。

「注目した中野らしさ」

□多様性、多国籍

2019年10月時点で在日外国人は約2万人
10年前と比べて約2倍。

□気負わなく歩ける

どんな格好、生活をしていても
周りの目を気にしなくてよい

中野らしさを感じられるスポット①

「Buon Appetito Papa」

小麦本来の味を感じることが出来る生パスタや
イタリア産小麦を使用したピザを愉しむことができる。

<http://buonappetitopapa.com/nakano/>

中野らしさを感じられるスポット②

「中野ムサラー」

ムスリムの礼拝所。イスラム人のコミュニティーサイト
“イスラムのホームページ”にも掲載されており、
初心者でも安心して見学することができる。

<http://islamjp.com/benri/benriindex.htm>

「スポットの写真」



このチームの"新しいナカノ歩き"のアイデアは、「中野で世界旅行」というもので、まさに凝縮された多様な文化という「中野区らしさ」にヒントを得ています。

中野を1日歩くだけで、本格的なイタリア料理を味わったり、ムスリム(イスラム教徒)の礼拝所を見学したりできるなど、世界旅行をするような体験ができます。1つのまちにしながら、1日の間に世界の多様な文化を本格的に体験できるという点は、まさに中野区らしいアイデアといえます。



質疑応答では、「つまみぐい」のアイデアについて、「パスポートをヒントにまちを歩く"ネットに頼らない旅提案"になっているため、外国人観光客のWiFiがなくて困るという課題を解決しているのが素晴らしい!」という感想がでて、外国人観光客の課題に向き合ったアイデアであることが評価されました。

また、「世界旅行」のアイデアについては、「ムスリム(イスラム教徒)への注目がいい!しかし、受け入れる側の理解はまだ十分ではないかもしれない」という意見がでて、多様な文化体験を提供する際に、その文化差によって生まれる懸念点をケアする必要性が議論されました。

最終発表:TEAM「うちの名は。」



TEAM:

うちの名は。



センパナイトピクニック

中野区らしいイベントのイメージを掴むツボを提案したつづらこ
中野区らしいイベント

<p>① ターゲット: 国籍・年齢・性別問わず楽しめる企画</p> <p>② 企画内容 (昼間(14時~17時) 夜間に限定) 中野区ならではの魅力を伝えるイベント</p> <p>企画例: センパナイトピクニックを中野区民が主催する中野区民のイベント</p> <p>⇒ On と Off が両方楽しめる</p>	<p>③ ナイトタイムエコノミー (夜間経済) (外国人観光客の夜間滞在促進のきっかけ)</p> <p>⇒ 夜の時間帯の有効活用</p> <p>夜の時間帯ならではの観光客を夜の中野区民に誘う</p>	<p>施策のポイント</p> <p>★ インバウンドを重視するツボ★</p> <p>庶民文化 × 夜のChill = 暮らすようなChill (イモイ)</p>
<p>④ 庶民文化柱</p> <p>例1 「おしゃべり(喋り)の文化」 例2 「セントラルパーク」</p>	<p>⑤ インバウンドファーストステップ</p> <p>海外だと通称での認知は違ふ。しかし日本(中野)では夜は夜間滞在のきっかけを誘うこと。中野区民のChill文化の発信。</p> <p>中野区民が主催する中野区民のイベント</p> <p>中野区民が主催する中野区民のイベント</p>	<p>施策の概要</p> <p>(目的) 中野区民観光客の大半は、昼間にセントラルパークを目的にやってくる。夜間に滞在する観光客はあまり見かけない。</p> <p>(対象) 国籍、年齢、性別を問わず楽しめるコンテンツ ⇒ 映画、音楽、アート、スポーツ</p> <p>(内容) センパナイトピクニックを野村区民としてイベントを行うことで、夜間に滞在する観光客が、中野区民の生活を見られる。</p> <p>(内容) 中野区民が主催する中野区民のイベント</p> <p>中野区民が主催する中野区民のイベント</p>
<p>⑥ 注目の中野区民</p> <p>①② 背伸びせず過ごせるゆるやかな暮らし</p> <p>③ 中野区民の庶民文化柱</p>	<p>⑦ インバウンドのイメージを掴むツボ</p> <p>夜の中野区民のChill文化をコンテンツ</p>	<p>紹介するスポット</p> <p>セントラルパーク (中野四季の森公園)</p> <p>着眼点</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供たちが親元を離れた目的に遊び回れる(オク) 住民だけでなく、外国人観光客も集まる(オン) 夜の時間帯にゆとり過ごせる(Chill)

最後に発表したのは、チーム「うちの名は。」です。このチームが提案した「外国人観光客向け施策」は、「センパナイトピクニック」*です。このアイデアは、「背伸びせず過ごせるゆったりした暮らし」や「なごやかな庶民文化」という「中野区らしさ」に着目して、「外国人観光客が、日中に中野を訪れても、夜には新宿などに流出してしまう」という課題を解決するというチャレンジです。

この施策には、夜間にセントラルパークで映画をオープンエア上映し、中野の夜を楽しんでもらいたいという想いがあります。会場では、空のお弁当箱を販売し、来場者にまちの居酒屋などを回って好きなおかずを詰め込む「自分好みのお弁当作り」をしてもらうなど、中野の庶民文化を感じながら映画を楽しんでもらいます。外国人観光客のナイトタイムエコノミー**というチャンスを捉えたビジネス的にもよく練られた施策です

*センパ... 中野セントラルパークの愛称として近隣の大学生などに浸透しています

**ナイトタイムエコノミー... 夜間の経済活動を指し、特に外国人観光客による夜間の娯楽・消費が期待されています。

「中野ほろ酔いさんぽ」

中野の居酒屋で仕事後の疲れをオフしたいあなたに
中野の魅力的な飲み屋でお酒を飲んで、緑と夜風を感じながらほろ酔いで散歩するところみ

「注目した中野らしさ」

- ・オン(会社員・学生)とオフ(中野区在住民)の人が共存する
- ・落ち着いていて独特な飲み屋が多い
- ・身近に自然を感じられ、歩くのに適した街

中野らしさを感じられるスポット①

「中野餃子 やまよし」

ブロードウェイ入口の横道を右に曲がり、奥に進むと見えるお店。
昭和感を感じられる外観は、ザ・中野の飲み屋。
1階はカウンター席のみで、お店の人や他のお客さんとの距離が近く、
アットホームな雰囲気の中でお酒と餃子を味わえる。

中野らしさを感じられるスポット②

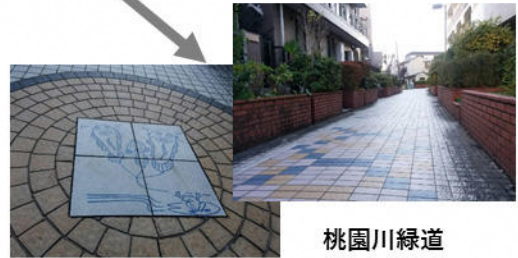
「桃園川緑道」

桃園川の跡地を整備した、約2.3kmの遊歩道。
花や植木などの自然を感じながら快適に歩くことが出来る。
道の途中には絵が描かれたタイルが敷かれていたり、
遊び心溢れる歩道で散歩にぴったり。

「スポットの写真」



中野餃子
「やまよし」



桃園川緑道

あなたもおすすめの中野の散歩コース
を見つけてみてはいかがでしょうか？

このチームの"新しいナカノ歩き"のアイデアは、「中野ほろ酔い散歩」というものです。このチームは、中野のまちがもつ"オンとオフの二面性"に着目しました。このチームのメンバーにとって中野のまちは、昼はビジネスマンが働く"オン"のまち、夜はオトナが居酒屋などで息をぬく"オフ"のまちに映りました。中野の夜で"疲れをオフする"体験をより魅力的にするために、個性的な居酒屋でお酒を楽しんだ後に桃園川緑道など、中野の緑豊かなスポットを散歩しながらの"酔い覚まし"までをパッケージ化するという体験の提案です。



質疑応答では、「センパナイトピクニック」については、「夜のエコノミーはまさに官公庁が取り組んでいるテーマだから時流を捉えている」というコメントが上がりました。一方で、「夜の映画ショーはあまり集客が見込めないのではないか？予算のことを考えなければ、チームラボと連携ができれば、ひとつの名所を作れそう」など、実際に集客をするための巻き込みなどについて、そのような事業者を巻き込むべきか？の議論が盛り上がりました。

また「中野ほろ酔い散歩」については、「"ほろ酔いさんぽ"をすることで通常見ていた景色から「視野が変わり」「新しい発見」につながるという視点は新鮮!」という意見が上がり、この施策を通して、さらに「新しい中野区らしさ」の発見が生まれることが期待されるという波及効果が発見されました。

オープンセッション

全チームの発表を終えた後に、会場のオブザーバーと各チームのフリーな質疑応答のセッションを行いました。各チームごとにテーブルに分かれ、オブザーバーの皆さんが、特に「気になった」、「追加で質問したい」チームのところで、自由にディスカッションをしました。「アイデアがどうすればもっと良いものになるのか」について、どのテーブルでも議論が白熱しました。学生は、オブザーバーの皆さんの社会人経験・ビジネス経験から発せられるアイデアの実現性

などについて、より深く洞察する貴重な機会として真剣に意見を交わしていました。またオブザーバーの皆さんからも、学生の既成概念に捉われない自由な発想に刺激を受けたとの声が挙がりました。



さいごに

本プロジェクトでは、半年間におよんで、学生が本気で中野区と向き合って、中野区の現在そして未来のあり方について、アイデアを考え抜きました。どのアイデアにも学生の真剣な想いと若い発想が詰め込まれ、中野のミライを照らすものになっています。

学生にとっても明治大学中野キャンパスに日々通い、生活を送っている中野で、これまでは見えていなかった「中野区らしさ」を沢山発見し、その魅力を改めて実感する貴重な機会になったと思います。これから、中野での学生生活を送る間、そして大学を卒業してからも、中野が"第2のふるさと"だと思えるような大切なまちであり続けてほしいと思います。

発表されたアイデアのうち、まちを上げて取り組みたい観光プロモーションプランについては、3月5日(木)からJR中野駅乗り換え通路にて掲示しています。(改札内になりますので、乗車券あるいは入場券が必要です。)

また"新しいナカノ歩き"は、リーフレットにまとめ、3月中旬頃から区内各所で配布します。詳しくは、当HPお知らせ欄に、順次掲載していきますので、ぜひご覧ください。

参加した学生の声

- ・官民が一体となり、中野を盛り上げていこうとする自主性と地元愛が中野の魅力だと思いました。
- ・まちへの提言というなかなかない体験で、レポートやテストとは違い公式な発表だったので、責任感があった。また発表の時は各方面からさまざまな人が集まっていた緊張したが、今後そういう場は社会人になってもあると感じるのでいい経験だった。
- ・論理的にプレゼンするスキルや現地でのヒアリングの大切さを知りました。
- ・人のあたたかさ、受け入れてくれる中野、個性溢れる町、飾らないで歩ける、多種多様なお店。いろんな中野の魅力を知りました。
- ・このプロジェクトをきっかけに中野を深く知り、もっと歩きたいと思うようになりました。何度散策しても、新しい「お気に入りのお店」ができるのは中野ならではの気がします。この半年間、就職後も活かせるような非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

